

# 情報セキュリティの向上など情報基盤の確保に資する事業について

電算機防護システムの整備等の防衛省・自衛隊の情報セキュリティの向上や防衛省・自衛隊の情報通信基盤の整備等に係る事業 (約60億円)

## 情報セキュリティの向上など情報基盤の確保に資する事業の必要性

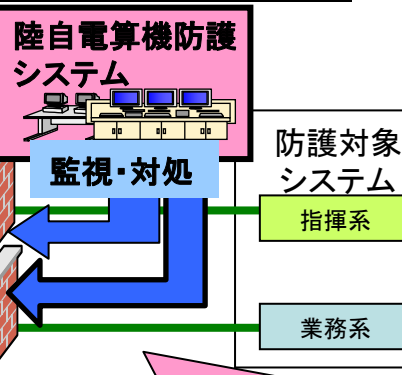
防衛省・自衛隊の情報通信ネットワークは、防衛省・自衛隊の指揮中枢と各自衛隊の司令部、及び現場部隊指揮官と部隊、さらには、部隊相互の間をつなぐ、いわば神経系の役割を果たしている。

- 防衛省・自衛隊が任務を確実に行う上で必須の役割を果たす、情報通信基盤に対し、近年のサイバー攻撃の高度化・複雑化を受け、情報セキュリティ機能の向上に関する必要性は高まっている。

「安心・安全社会の実現」のためには、防衛省・自衛隊の通信ネットワークに対する不正アクセス等への防護機能の向上をはじめとする各種事業や情報通信基盤の整備に必要な事業等を通じ、防衛省・自衛隊の情報セキュリティ機能の維持・向上等を図ることが必要。

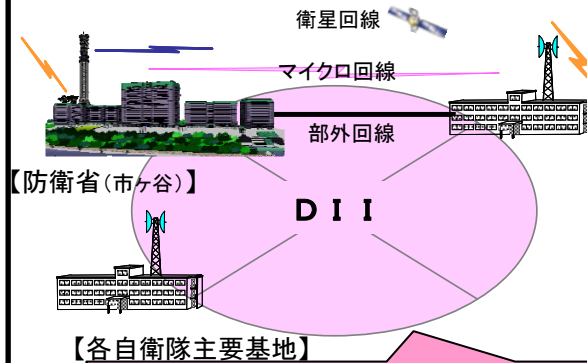
### 陸自電算機防護システムの整備

不正アクセス等の脅威



陸自のシステム防護能力の向上

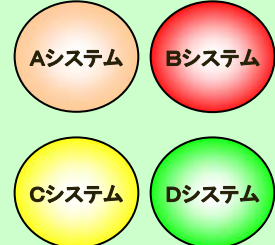
### DIIの整備



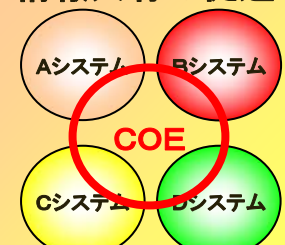
通信ネットワーク機能の維持・向上

### COEに係わる技術支援役務

#### 異なるシステム



#### 情報共有の促進



コンピュータシステムの情報共有化の促進

(※) DII・・・Defense Information Infrastructure (防衛情報通信基盤): 防衛省として一元的に整備し、全自衛隊が共通に使用する通信ネットワーク。

(※) COE・・・Common Operating Environment (コンピュータ・システム共通運用基盤): 防衛省・自衛隊の情報共有化促進等のための共通開発規定やソフト部品群をいう。

# 情報セキュリティの向上など情報基盤の確保に資する事業について

## 主要事業(1) 陸自電算機防護システムの整備(要望額:357百万円)

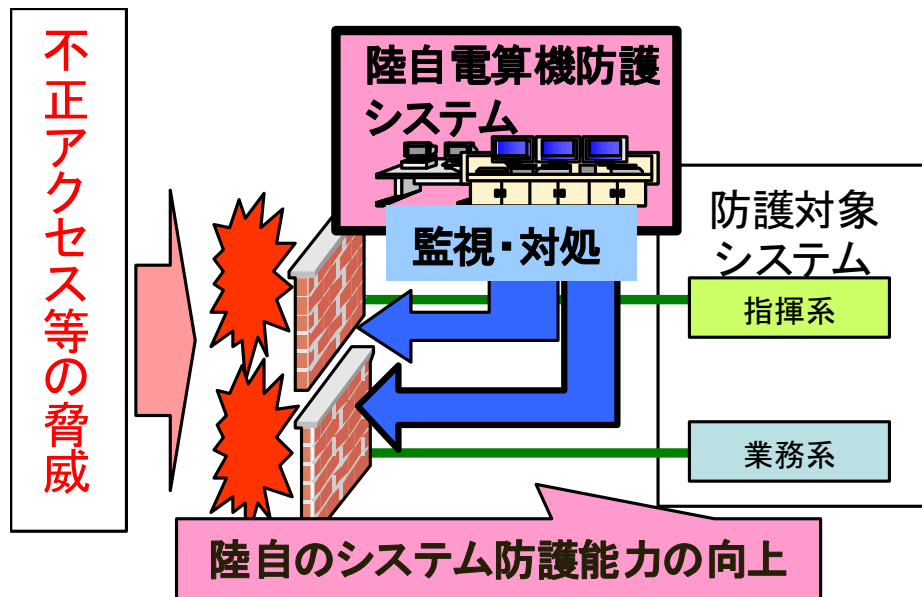
情報システムで扱われる情報を、侵入、改ざん、不正アクセス等から防護するためのシステムの整備に係る事業。

### 【事業の効果】

現状では、秘匿性の高い情報を取り扱う指揮系システムの防護を陸自電算機防護システムにより重点的に実施。

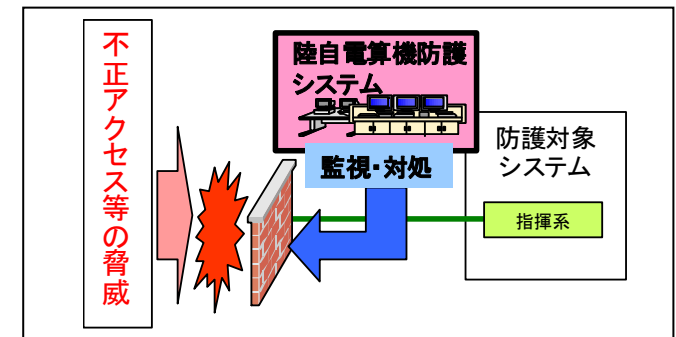
近年のサイバー攻撃の高度化・複雑化を踏まえ、外部に接続し、インターネットからのサイバー攻撃を受けやすい業務系のシステムについても防護対象として拡大するもの。

### 陸自電算機防護システムの整備

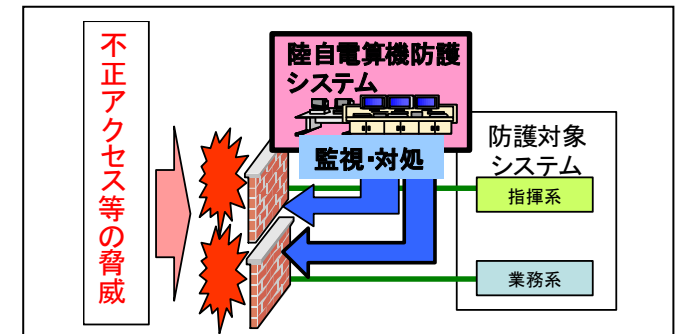


### 【事業の概要】

【現状】



【将来】



# 情報セキュリティの向上など情報基盤の確保に資する事業について

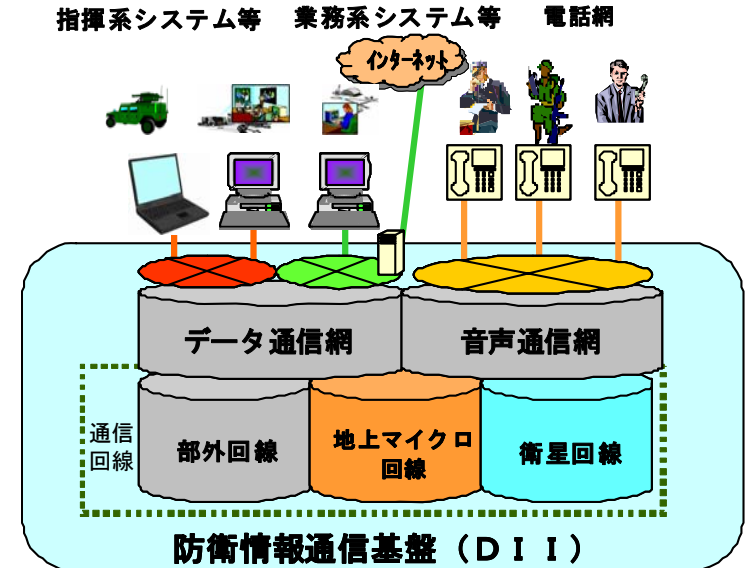
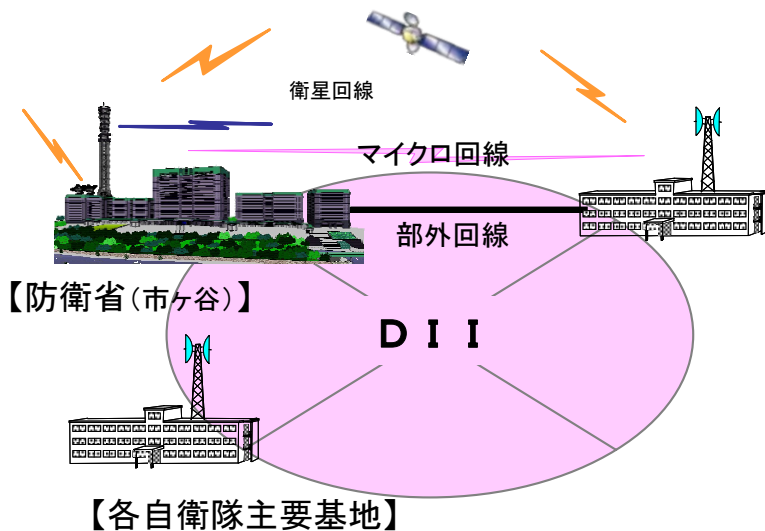
## 主要事業(2) 防衛情報通信基盤(DII)の整備(要望額:2,352百万円)

DIIは、防衛省・自衛隊が一元的に整備し共通に使用する通信ネットワークであり、指揮中枢(中央)と各自衛隊の司令部や部隊をつなぐ指揮統制のための基盤。今回の東日本大震災においても、マイクロ回線については、通信機能を維持し、部隊の円滑な救援活動の実施に大きく寄与したところ。

### 【事業の効果】

本事業により、DIIネットワークに加入する指揮系システム等の情報通信基盤を確保し、自衛隊の指揮統制、情報共有の根幹を維持・強化するもの。

### 【DIIの概要】



DIIは、地上マイクロ回線、部外回線及び衛星回線により構成される伝送路上にデータ通信網及び音声通信網を構築している

# 情報セキュリティの向上など情報基盤の確保に資する事業について

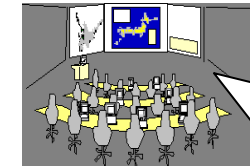
## 主要事業(3) COEに係わる技術支援役務(要望額:380百万円)

COEは、防衛省・自衛隊のシステム開発の基盤であり、各システムが共通して利用する機能を提供するためのソフトウェア(部品)や、これらのソフトウェアを利用したシステム開発を行うための規約を整備している。

### 【事業の効果】

COEで提供しているソフトウェアには、暗号化・認証など適用システムの情報セキュリティを確保するために必要なソフトウェアもあり、これらを活用することによって、適用システム毎に個別に設計・開発する必要がなくなる。(下記概念図)

本事業は、技術動向の変化や不具合の発生等に対応してソフトウェアの改修を行うことによって、適用システムにおける情報セキュリティの確保に寄与するもの。



COE適用システム

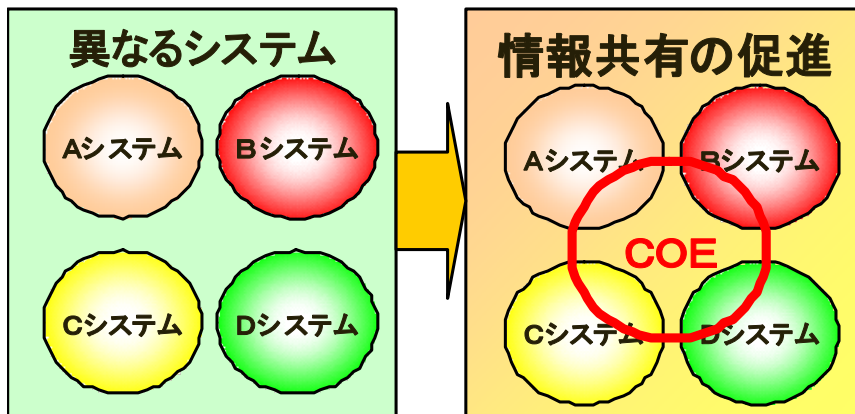


情報保全用部品  
(暗号化・認証等)



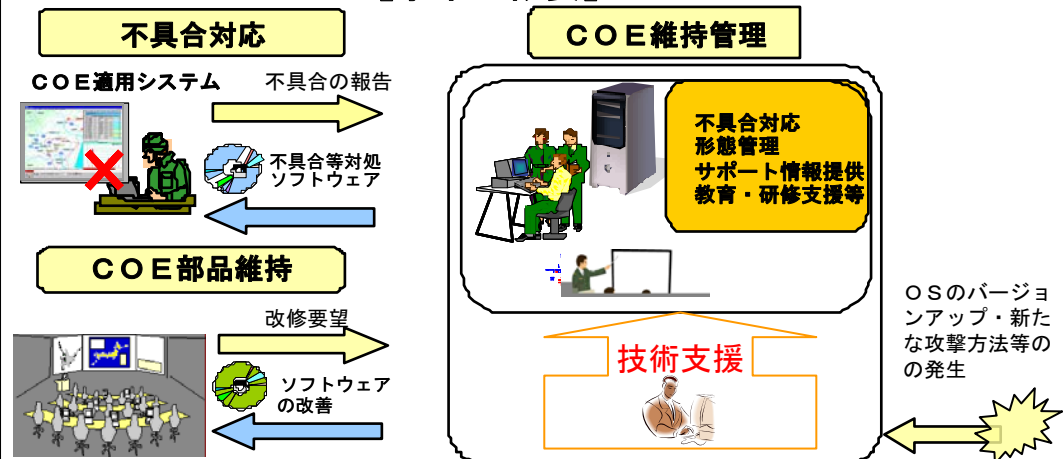
データ連携用部品  
通信用部品

### 【COEの概要】



COEの適用により、ソフトウェアの開発更新に係るコスト・期間の低減やシステム間の情報共有の促進に寄与。

### 【事業の概要】



部品の改善等を通じ、ひとつの適用システムで発見された不具合についても、全適用システムにおいて改修が可能。